

教えて



図書館でRといえば、レファレンス・ブック (Reference book) のこと。日本語では参考図書とされています。調べるための本、辞典・事典、年表や図鑑、目録などを指し、普通、これらは貸し出しができません。みなさんはこのレファレンスブックを使ったことがありますか？ここでは、参考図書の使い方、奥深さをお伝えしたいと思います。何か調べるときに、図書館にはこういう本があるのだということを知っていると便利です。



この1冊で2014年の国内外の時事ニュースがわかるだけでなく、統計や歴史年表、国情報など百科事典としても使える万能な本です。埼玉県についてはもちろん、たくさんの情報が載っています。小松菜、秋冬ネギの収穫量が全国1位、パンジーの苗、ユリの切り花の出荷量が全国1位、面積は意外に大きく全国9位の大きさということを知っていましたか。また各国の比較の項目も興味深いものがあります。日本のテレビ普及率は98.9%ですがエチオピアは4.9%、衛生的な水の供給は日本は100%ですがアメリカは99.2%だそうです。学校や受験勉強の参考図書としてもおすすめの1冊。
『朝日ジュニア学習年鑑 2015』
朝日新聞出版社 編 朝日新聞出版 2015年《05》



窓際閲覧席 (26席) の 利用について

午前9時20分で利用希望者が20名を超えた場合、座席札を配布します。市内在住の方を優先といたしますので住所の確認ができるものをご持参ください。また、**混雑時に30分以上離席された場合、荷物を引き揚げる場合があります。**

赤ちゃんタイム実施のお知らせ

毎月第2金曜日の10時から12時まで赤ちゃんタイムを実施しています。幼いお子さんを連れた方に気兼ねなく図書館を利用していただくという時間です。この時間帯には赤ちゃんの声が館内に響く場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

閉館時の返却について

緑町中央公園の向いにある児童館側駐輪場の壁沿いに返却口がありますので、閉館時はそちらにお入れください。
視聴覚資料や他の市町村から借り受けた本は直接カウンターまでご返却下さい。

編集後記

この春に進学や進級をしたみなさんは、そろそろ新しい環境に慣れてきたころでしょうか。実は私も、この春に新所沢分館にやってきたばかりの新入り一年生です。毎日右往左往して、人は誰かに迷惑をかけながら生きていくものなんだなあ実感しています。これから始まる夏をみなさんが笑顔で過ごす姿を思い浮かべつつ、自分も笑顔で過ごせるように頑張ろうと思います。

《読むトコ》ヤングアダルト版 第3巻第4号 編集・発行：所沢市立所沢図書館 新所沢分館

発行日：2015年6月1日
〒359-1111 所沢市緑町1-8-3
☎04-2929-1905
開館時間
火曜～金曜 9:30～21:00
土日祝 9:30～17:00
休館日 毎週月曜日・月の最終水曜日
指定管理者 株式会社ヴィアックス

所沢市立所沢図書館新所沢分館 図書館だより

読むトコ 【ティーンズ版】

第4巻第1号(2015.6.)



夏のおすすめ図書



『生きるぼくら』

原田マハ/著 徳間書店 913.6/ハ



高校でいじめを受け、引きこもったまま大人になった麻生人生。家計を1人で支えていた母親はある日突然なくなってしまいます。途方に暮れた人生は、蓼科に暮らす祖母を訪ねますが、思わぬ先客がいた上に、祖母の様子もおかしくて…。蓼科の自然の中で、人生は米作りを通して「生きる」ことを見つけていきます。お米の作り方も学べる1冊です。

『ラブオールプレー』

小瀬木麻美/著 ポプラ社 B913.6/コ



水嶋亮が何気なく始めたバドミントン。高校に入り、掛け替えのない仲間やライバルに出会って、バドミントンは青春の全てになった！バドミントンに打ち込む高校生たちの姿が生き生きと描かれたこのお話しは、シリーズの『風の生まれる場所』『夢をつなぐ風になれ』『君は輝く！』もあります。登場人物それぞれの心の動きがみどころです。

『ウォーターシップ・ダウンのウサギたち』上・下 リチャード・アダムズ/著 評論社 933.7/ア



予知能力を持つウサギのファイバーが危険を予知し、11匹の仲間たちは平和な土地を求めて旅に出ます。旅の途中にも危険や困難は待ち受けていました。ウサギたちは力を合わせて立ち向かっていきます。ウサギたちの知恵と勇気と仲間を思う気持ちの強さに、この本を読んだ後ではウサギを見る目が変わってしまうかもしれません。

学ぼう！ 著作権のこと

著作権法の中で著作物は思想又は感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの、と定義されています。自分が持っている物を保護する所有権、自分のアイデアを保護する特許権とは異なり、**著作権は自分が作ったものを他の人に無断で使わないで！**と**言うことができる権利**です。とはいえ、すこし難しいですね。

このコーナーでは図書館も大きく関係している著作権について4回にわたってやさしく説明していきます。

第1回：無断で使ってはダメ！使うときはまず許可をとろう！

みなさんは、ブログやツイッターで新聞や雑誌、小説など他人が作った文章・歌詞や、他人が撮った写真・画像を載せたことはありますか？

私のブログやツイッターを読んでいる人は限られているし、お金をとっていないし、いいんじゃない？と思うかもしれませんが、これは著作権法違反になります。権利者の許可を得るか、その著作物の使用料を支払う必要があるのです。ちなみに、有名人の写真・画像を載せることも法律上禁止されています。

使うことが違法なのではなく無断で使用するが禁止されているのであって、使用する前に権利を持っている人から許可をとれば問題ありません。

次号では、著作権がなぜ生まれたのか、なぜ必要なのかという話をしていきたいと思います。

文化庁のHPや公益財団法人著作権情報センターにわかりやすく説明されているので、ぜひ参考にしてください。

文化庁 <http://www.bunka.go.jp/chosakuken/>

公益財団法人著作権情報センター <http://kids.cric.or.jp/>



『小中学生のための初めて学ぶ著作権』
岡本薫 著 朝日学生新聞社 2011年
《Y02》

ティーンズコーナーについておしらせ

カウンター前に10代向けのティーンズコーナーがありますが、新たに、心理学や歴史、数学や科学、生物などの本の棚ができました。これらの本は背ラベルに数字がついており、下の地図ではライトノベルコーナーの裏にある【Y00→93.4】にあたります。



中高生に読んでもらいたい「キミ本大賞」決定！

2014年、全国の中学・高校教師の投票で生徒に最も薦めたい本を選ぶ文学賞「君に贈る本（キミ本）大賞」が創設され、2015年3月に第1回の大賞が決まりました。

1位『ころ』 夏目漱石

- 2位『永遠の0』 百田尚樹
- 3位『竜馬がゆく』 司馬遼太郎
- 4位『博士の愛した数式』 小川洋子
- 5位『夜のピクニック』 恩田陸
- 6位『風が強く吹いている』 三浦しをん
- 7位『深夜特急』 沢木耕太郎
- 8位『赤毛のアン』 モンゴメリ
- 9位『夜と霧』 ヴィクトール・フランクル
- 10位『きみの友だち』 重松清



映画やドラマでも話題になりましたね

『ころ』冒頭文引用

上 先生と私

私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。これは世間を憚る遠慮というよりも、その方が私にとって自然だからである。私はその人の記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」といいたくなる。筆を執っても心持は同じ事である。よそよそしい頭文字などはとても使う気にならない。

※1914（大正3）年4月20日から同年8月11日まで、『朝日新聞』に連載された小説で、同年9月、岩波書店から刊行されました。

※ここにランクインした10作品はすべて所沢図書館に所蔵しています。



つぶやき ぼしゅう

10代の利用者であるみなさんの生の声をぜひ聞かせてもらいたいと考え、館内に記入用紙を置いています。

★今読んでいる本★好きな本★周りで流行っているモノ・コト★自分がはまっているモノ・コト、という項目があります。

みなさんからの意見も反映したいと思うので、気軽に投稿してください。すでに、リクエストがあった作家を特集としてとりあげました。例えば、『十五少年漂流記』『海底2万マイル』などを書いたジュール・ヴェルヌやロバート・マカモア著『チェラブ』特集、『スターウォーズ』特集、雑貨屋のような本屋のような何でもありの店「ヴィレッジヴァンガード」のようなコーナーを！という声が寄せられたので実際におこないました。

館内での熱中症に気を付けて

これから暑い季節が続きます。図書館内でもこまめな水分補給にお気を付け下さい。

図書館内ではペットボトルや水筒など、フタの閉まるもので水分をとってください。

飲み口の開閉できないバックやキャップのない缶飲料につきましてはお持ち込みをお断りしております。万が一、体調が悪くなった場合は遠慮なく図書館スタッフにお声かけください。